

■『港地区と三泗ブロック
平成26年を振り返って』

三泗ブロックとして参加した初期の港地区の避難訓練では、地域の皆さんは、何も持たずに、半袖・無帽という姿で参加されていたのが印象に残っています。それが本年の訓練では、非常持出し袋を持ち、ヘルメットや帽子、長袖姿での参加が多く、まさに災害をイメージした実践訓練になっていました。また、アンケートでは、限られた人の参加ではなく、地域全員の参加を求める声や隣近所への声かけの提案等、新たな課題の提案がされており、訓練の積み重ねが、意識を変えてきていることを実感しています。今後は、「防災と言わない防災」「地域の誰もが参加する事業」など、楽しく健康にも良い、支え合い・助け合いのまちづくりに繋がって行く事を願い、皆さんと一緒に活動していきたいと思っています。



防災功労者内閣総理大臣賞受賞

グループ訓練

稲葉町・北納屋町・浜町一区・浜町二区・浜町三区グループ

コスモ石油(株)・石井燃商(株)・大成建設(株)大協土木・中日本建設(株)・昭和電工ガスプロダクツ(株)・中部電力(株)四日市火力発電所

2月1日(日) 10時~11時30分 防災講演&住民・企業による意見(防災)交換会

高砂町グループ 高砂建設(株)・風薫会

3月20日(金) 9時30分~ 三泗ブロックによる出前講座

千歳町グループ 日本トランスシティ(株)・日本板硝子(株)・(株)エネックス中部支店四日市営業所・第一工業製薬(株)・太平洋セメント(株)・中部海運(株)・東陽興業(株)・日本カニゼン(株)・(株)ニヤクコーポレーション中部支店四日市営業所・四日市海運(株)・林興業(株)四日市営業所・東邦ガス(株)導管部三重センター

3月5日(木) 9時~11時 タウンウォッチング

尾上町グループ 九鬼産業(株)・伊勢湾倉庫(株)・おのえ作業所・三エスゴム(株)・協同海運(株)・日本海事検定協会・港郵便局東ソー(株) 調整中

南納屋町・西末広町グループ 住友電装(株)・九鬼肥料工業(株)

2月22日(日) 9時から港第2市民防災隊による応急手当訓練

中納屋町・蔵町・相生町グループ 四日市電機(株)・佐藤クリニック・大宗建設(株)・日本通運(株)

3月6日(金) 10時~ 三泗ブロックによる出前講座

《防災委員》(敬称略・五十音順)

飯田 剛生 家城 宏光 石田 茂明 伊藤 範幸 大橋 隆 奥村 吉孝 大田 隆則 笠井 得生 加藤 亘 川崎 光俊 小崎 重夫 佐藤 敏 清水 泰次 鈴木 完一 寺井 勝 豊田 成彦 長谷川 正司 長谷川 雄俊 羽多野 隆 藤村 まさみ 松島 英男 松田 裕文 三島 誠 宮崎 裕之 山内 達生 山田 鑠明 吉田 正紀 山田 正幸

《防災連携企業》(五十音順)

石井燃商(株)	伊勢湾倉庫(株)	(株)エネックス	おのえ作業所	風薫会	協同海運(株)	九鬼産業(株)
九鬼肥料工業(株)	コスモ石油(株)	佐藤クリニック	三エスゴム(株)	JSR(株)	昭和電工ガスプロダクツ(株)	
住友電装(株)	第一工業製薬(株)	大成建設(株)	大宗建設(株)	太平洋セメント(株)	高砂建設(株)	
中部海運(株)	中部電力(株)四日市火力発電所		中日本建設(株)	東ソー(株)	東邦ガス(株)	東陽興業(株)
日本板硝子(株)	日本海事検定協会	日本カニゼン(株)	日本貨物鉄道(株)	日本通運(株)	日本トランスシティ(株)	
(株)ニヤクコーポレーション		林興業(株)	三菱化学(株)	四日市海運(株)		
四日市電機(株)	四日市港郵便局					

港 防災だより No.19

2015年(平成27年)3月1日
発行人/四日市市港地区自主防災組織連絡協議会 会長 奥村吉孝

『港 防災だより』について

港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。
(例:埋立地(地震に弱い)、海岸線(津波に弱い)、臨海コンビナートに近接、住民の高齢化率40.3%)

これらの問題に対処して行く為に重要なことは、住民/企業/行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

■『私たちのまち(港地区)の防災<その2>』の改訂について

このほど、従来の災害対策基地や避難所の設置と運営マニュアルに、平成23年3月の東日本大震災の教訓と近年の港地区の状況(高齢化・過疎化等)を織り込んだマニュアルの見直しを1月に完了しました。このマニュアルでは、医療、生徒等子供の安全対策、自然災害に伴う企業災害への対応等が未だ不十分であり、今後も適宜マニュアルの見直しを行っていく必要があります。港地区の災害対策のため皆さまのご協力をお願いいたします。

■避難所開設体験訓練開催

平成25年度・26年度と2年間続けて行いました、「避難所運営訓練 HUG(図上訓練)」を平成27年度は内容を変えて、【非常時体験】の訓練を計画しています。訓練の内容は、

- 1) 体育館内で段ボールを使って行う「避難所体験」
- 2) なやプラザにある四日市市の「防災備蓄倉庫(コンテナ)」内の資機材を実際に使用し、非常時に備えて体験して頂き、また「プライベート・ルーム」も【実際に組み立てて使用する】という訓練
- 3) 煙内での歩行を体験して頂く「煙体験」、地震を体感して頂く「地震体験(車)」等を予定しております。これら3項目は【自ら体験をする】を目的としております。

7月12日(日)一人でも多くの方に参加をして頂き「体験」をお願い致します。

【イザッ! 非常時に備え、皆で訓練をしっかりと行ないましょう!】

■新しい「四日市市津波避難マップ」で話し合いしましょう。

四日市市から、平成23年度に「四日市市津波避難マップ」が“暫定版”として各戸配布されましたが、間もなくこの“確定版”となる新しい「四日市市津波避難マップ」が各戸配布されます。イザの時の備えを考えるうえで大変参考となるものであり、家族や町内や地域の集まり等の中で、マップをみて皆で話し合いましょう。今年のこの協議会の活動のなかにも織り込んでいきたいと思ひます。

自主防災関連 主な総会予定

5月8日(金)
自治会/企業代表者会議

6月7日(日)
港地区
自主防災組織連絡協議会総会

■ 中部電力浜岡原子力発電所で防災視察研修

昨年11月2日、港地区連合自治会の呼びかけで、中部電力社ご招待の浜岡原子力発電所の見学会がありました。住民40名の参加がありバス1台で出かけました。発電所の設備は、よくテレビなどで見るそのもので臨場感たっぷり、やはりこなければ体感できない光景でした。

☆☆☆☆『浜岡原発』ばあちゃん二人の見学ばなし☆☆☆☆

Mばあちゃん 「原発反対とか、賛成とか言うても実際見てみやなわからんわな」

Kばあちゃん 「そうそう、ここ見てみたらそう簡単に反対や賛成や云わんわ」

Mばあちゃん 「若い女性案内の人に質問した時、月に一回(確かそうだったと・・・昨年だから自信ないけど)は健康診断していると言うてたところみると相当難しい問題もあるのかなあ・・・これも素人考えやけど・・・ちょっと思いましたなあ」

Kばあちゃん 「それから、セキュリティのすごかったのなんのって、見学者の写真入り身分証明書から空港で行く金属探知機の検査まで、各ドアの厚みも分厚く頑丈そのもの。そういえば、私その金属探知機に引っかかって3度も4度もブー一、そのうちにガードマンは来るわ お巡りさんは来るわもう重要参考人扱い、自分もびっくり！周りもびっくり！・・・何やったと思います??これがなんと整形外科で作ってもらったコルセットの中にわずかな磁気が入っていて、それが原因！やっと入場許可がおりてやれやれ、人間長いことやってますけど、一生に一度あるかないかの体験でしたわ」

Mばあちゃん 「今の世の中、テロやらなんやら物騒な時代ですから、あんなやられたらえらいことになるからそのぐらいきつくせんといかんのやろと思いますなあ」

M・Kばあちゃん

「私らには、重くて難しい問題ですなあ、もう肩が凝ってきました。この辺で見学感想記おしまいといきますか・・・」



トピックス

■ 企業との連携による防災活動

5月 コスモ石油(株)

定期整備説明会開催(予定)

平成27年度に実施される全てのプラントの定期整備計画につき説明を受けます。

この説明会は毎年開催されております。

3月 導管管理状況報告会開催(予定)

地区内に導管を敷設している企業5社(コスモ石油社、中部電力社、東ソー社、東邦ガス社、三菱化学社)から、関係する自治会長が参加し、この一年間の導管の点検結果等につき定期報告を受けます。この報告会は毎年開催されております。

■ 港地区の事例発表会の報告

今年度は、高齢化と過疎化が進む当地区の取り組み、「防災と福祉が一体化したまちづくり」に地区を挙げて懸命に取り組む姿を紹介する機会に恵まれ、多方面より評価・支持を得、これから益々地域一丸で、まちづくりと防災を進めていきたいと思っております。

- ◎平成26年11月 四日市市地区防災組織連絡協議会事例発表会
- ◎平成27年1月24日 鈴鹿市男女共同参画課企画シェフリーセミナー
～防災と男女共同参画～四日市の事例から学ぶ
- ◎平成27年2月8日 四県連携自主防災組織交流大会 和歌山市で開催 三重県代表として港地区紹介
- ◎平成27年2月10日 楠地区連合自治会にて
「よってたかって防災まちづくり港地区取組」紹介
- ◎平成27年2月21日 四日市市防災・減災女性セミナー第9講
「よってたかって防災まちづくり港地区取組」紹介
- ◎平成27年2月28日 はもりあ四日市委託事業 女性による四日市防災会議
公開会議にメンバーとして参加

■ 平成27年度 港地区「いきいきサロン」のお知らせ
白峰 圭子

皆様ご存知かと思いますが、この港地区は、防災と福祉が一体化した「まちづくり」をめざしておりますが、港地区社協、福祉グループが担当させていただいております「いきいきサロン」も同じ趣旨で運営しております。平成27年度は平成25年度からの第2段といたしまして「いきいき面白防災」を1年を通じた講座、「いきいき面白防災ABC」と題しましてお馴染みの身近な角度から防災を取り上げます。主なものは、家庭の防災・耐震の固定・地震が起きた際の動き方・備蓄食料など途中お楽しみ会もはさみ、楽しく自然に防災の知識が身につくような講座にもっていきたく企画いたしました。高齢者が中心ではありますがそんな枠を外して、年齢・性別を問いませんので一人でも多くご参加くださり「いざという時」に困らないようみんなで楽しくまなびましょう。

■ 港地区津波避難訓練開催予定

平成25年・26年に引き続き、9月27日(日)に港地区総合防災訓練として津波避難訓練を実施することとなりました。「イザ」の時、災害時要援護者の一人ひとりに支援の手を届けることを目指す訓練とします。安否確認、要援護者への支援方法等まだまだ改善が必要となる訓練ですが、高齢化、過疎化が進むこの港地区の「命を守る」この訓練に地区を挙げて取り組みたいと思いますので皆様のご協力をお願いいたします。

■ 『火事だ!! 大入道さんも避難』

昭和27年1月25日中納屋町において、三重県指定有形文化財の大入道収蔵庫での防災訓練が行われました。『火事だ!!』のかけ声に始まり、自主防災隊の水消火器の放水に始まり、消防隊と自主防災隊の放水で訓練を無事終了しました。



■ 『携帯型デジタル簡易無線機』

平成26年10月「携帯型デジタル簡易無線機」3台を購入しました。なやプラザより港地区一円で通信ができます。また中部地区内の他地区との通信も可能であり、非常時の連絡に威力を発揮すると思われます。

